

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	緑のおもしろ講座		
タイトル	カモの生態を知ろう～カモの美しさの秘密等～		
実施日時	平成29年2月12日（日）10時～14時		
実施場所	東京都江戸川区		
受講者	13名	FIC会員他スタッフ	9名

活動の内容

東京都江戸川区の葛西臨海公園でカモの生態について知り、頭部や翼鏡等の美しさを望遠鏡やスコープを使ってじっくり観察してみようという講座を実施しました。



葛西海浜公園と葛西臨海公園の概略と回るコースについて説明しました。ここはかつては三枚洲と呼ばれる遠浅の海で潮干狩り、海水浴、ハゼ釣りで賑わっていました。1960年代後半までには東京湾の多くが埋め立てられました。三枚洲だけが残り、公園として整備して貴重な自然を残すことになりました。海浜公園の西なぎさは千葉県君津産の山砂、また、千葉県産の石を運んで造成されました。スズガモの飛来数は過去最大で4万羽、カンムリカイツブリは3000羽を数え、日本でも有数の越冬地になっています。



出発してすぐ、メジロが「チュルチュル」と愛らしい鳴き声で迎えてくれました。青空をバックに映える満開のカワツザクラとともにしばし堪能しました。

西なぎさでは、ダイシャクシギの長い嘴やスズガモ、カンムリカイツブリの群れをスコープで確認しました。潜ってアサリ等を丸飲みし、筋胃で砕き磨り潰して消化するスズガモ等の生態について説明しながら鳥類園に向かいました。

上の池では、ハシビロガモの餌の採り方やオスのきれいな色をより近くで見ることができました。その後、カモの渡りやエクリップスについて、さらに、緑や青、紫に見えるオスの色は構造色によるものだという説明があると、参加者の「なるほど」「へー」という声が続々と聞こえてきました。センター2階からは、めったに見られないトラツグミを長時間確認しました。



昼食後、おもしろ話のネタにさせていただこうと「野鳥クイズ」10問を行いました。また、上の池では、ノスリが2度3度と飛翔し、しかも2羽も現れて探鳥会を盛り上げてくれました。

風が強くて鳥はやや少なめ、おまけに寒さに耐えての探鳥でしたが、真っ白な富士山そして丹沢山系までもがくっきりと見えた景色もこの日のお土産になったことと思います。

<認めた鳥>オカヨシガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、コサギ、オオバン、ダイシャクシギ、イソシギ、ユリカモメ、ウミネコ、トビ、ノスリ、オナガ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、トラツグミ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、アオジ、(33種)

